



## 平成 24 年度第 1 回 JASDI フォーラムのご案内

### テーマ 『PMSがMR活動を活性化する！』(Part II)

#### — 医薬品リスクマネジメントプラン(RMP)実施とMR活動 —

来年4月より「医薬品リスクマネジメントプラン(RMP)」の策定が施行されることになり、医薬品の安全性確保に対する製薬企業の取り組みには一段と厳密さが求められることとなります。それに伴い、製造販売後安全管理業務(GVP)に携わるMRには医薬品の安全性情報提供・収集・フィードバック活動における質の向上が喫緊の課題となってきます。

昨年10月の『PMSがMR活動を活性化する！』と題したJASDIフォーラムでMRはIT時代にあつてMRでなければできない安全性情報の提供と収集活動を行うべきであり、医師・薬剤師は個々の現場にフィットした医薬品情報の共有化を望んでいるとの共通の認識が確認されました。

本フォーラムでは、今年5月に実施した『MRのPMSに関する意識調査(Part II)』の分析結果を基に、MRがいかにしたら医療関係者と調和のとれた「安全性情報の提供・収集・フィードバック」活動を日常的に行えるかについて、RMPの実施を踏まえ講演ならびにディスカッションを行いたと考えます。

#### 《プログラム》

日 時： 2012 年 10 月 6 日 (土) 14:00～17:30

会 場： 東京大学 医学図書館(医学部総合中央館) 3階333教室

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_02\\_01\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_02_01_j.html)

オープニングリマークス ファーマ・ウィズダム・コンソーシアム 小久保光昭

座長 小久保光昭

講演1 「PMSに関する意識調査から見えてきたRMP実施後のMR活動に向けた課題」

講師 杏林大学医学部付属病院 薬剤部 若林 進先生

講演2 「医薬品適正使用と安全性監視 医師・薬剤師・MRの役割」

講師 東京慈恵会医科大学内科 准教授 古谷伸之先生

座長 日本製薬工業協会PMS部会 浅田和広

特別講演 「医薬品リスクマネジメントプラン(RMP)の概要と

求められる医薬品情報活動」

講師 (独)医薬品医療機器総合機構 安全管理監 森 和彦先生

総合討論

座長 小久保光昭

閉会挨拶

以上